



株式会社アドヴォネクスト

印刷会社が農業で 地域活性化に取り組んでいます

当社が農業事業を開始したきっかけは、収穫した後に処分に困る枝や葉っぱなどの残さから紙を生産できないかという試みでした。本社のある山梨県中央市はナスやトマト、トウモロコシなどの野菜栽培が盛んな地域です。当社でも2008年から農作物の生産を開始。生産農家とともに汗を流していくなかで、とりわけ高齢化にもなつて廃業する農家が後を絶たず、耕作放棄地が拡大の一途をたどっていることを知りました。中央市全体で100haもの耕作放棄地がありました。



当社では、そのうち7haを借り受けて、お米の栽培を開始しました。2024年からIT企業と連携し、地元密着で信頼性の高い農業用ドローンによる農業散布サービスを開始。コスト削減や作業時間短縮、環境への配慮といったメリットを追求し、農業経営に新たな可能性を提供。農業就労者が高齢化する中で自分たちがお手伝いできる作業をサポートすることで、少しでも長く地域の皆様が無理なくお米や野菜作りをすることで耕作放棄地の減少の一因になればと考えています。

山梨県中央市の「れんげプロジェクト」に参加し、市の花であるれんげの種を圃場に蒔き、育てる取り組みを行っています。れんげは緑肥となり化学肥料の削減につながります。

地域の景観を守り持続可能な農業の為に出来ることに取り組んでいます。



圃場では「4パーミル・イニシアチブ」「中干し期間の延長」「稲藁のすき込み」を実施し、CO₂排出の抑制に寄与しています。

また、「やまなしSDGsカフェ」の運営に参加し、地域コミュニティ活動にも足を踏み入れました。月に1回SDGsに関心を持つ方々が集い、持続可能なやまなしの未来を目指し気軽に真面目に対話を楽しみながら学び合う場を提供しています。

イラストを通じて町おこしを「そんなマーケティング委員会の一員として、甲斐の国百景という名前で美しい街並みをイラストで発信しています。百景を通じて自分の住んでいる地域の素晴らしさ、美しさに気付いてもらいたい。そして地域の活性化に繋げていければという思いでこの活動をしています。『甲斐の国百景 年賀状』を展開し、好評をいただいております。



※農業は規制の多い業界でもあり、2008年当時はアドヴォネクストが農地を持つことが難しかった。そこで2011年に農業法人たとき農園を設立、アドヴォネクスト社員を農業専従者として配置替えし、農業に本格参入。

審査員コメント

イラストや年賀状と言った印刷事業の取り組みだけでなく、農業でも地域活性化に取り組んでいる貢献は素晴らしい。今後は様々な世代を巻き込み、より一層地域活性化に取り組んでほしい。